

# おおた文化の森

## 10周年2010文化の森収穫祭 ～みんな集まれ文化の祭典～

～11月3日(祝)午前9時半から午後4時まで(全館イベント)～

今年の収穫祭は11月3日に開催されます。2001年11月3日に「大田文化の森」が開館されてからちょうど10周年目になります。9年前の開館日にはオープニング・イベントとして「すがはらすのり特別公演」がホールで行われ、翌11月4日(日)にはウォークラリーと銘打って、警視庁鼓隊を先頭とするパレード、6時間通しのマラソンコンサート(ホール)、お神輿の練り歩き、「くすのき連」の阿波踊り、集会棟各階の様々なイベントなど実に多彩な催物が行われたことが記録に残っています。

この「ウォークラリー」が発展して、翌年からは全館イベント「収穫祭」となり、またこのとき「文化プレーヤーの日頃の成果の発表の場」という基本コンセプトも明確にされました。以来、「収穫祭」は、多くの方々の多くのご努力により、年々発展・充実してまいりました。



開館時のオープニングセレモニー



にぎわう調理室(第1回収穫祭から)

2日間にわたって開催されたこともありましたが、今年も11月3日、文化の日で開催されます。記念すべき「大田文化の森」開館10周年目です。それまで、あと、ひと月。今、関係者一同、この記念すべき日にふさわしいイベントにすべく最後の追い込みで頑張っております。参加者(出演者・出店者・出展者)のみなさん、御来館者のみなさま、そしてスタッフ・関係者一同、みんなが心に残る楽しいイベントになりますよう祈りつつ…。

運営委員/2010文化の森収穫祭実行委員長 栗原 勝彦

## 祝!10周年 「おめでとう! これからも」

区民の皆さんの自主的な文化活動の拠点として、集い、参加し、交流することを目的に2001年に開設された「大田文化の森」も、今年で10周年を迎えました。

この間、大田文化の森運営協議会を中心として、区民主体の様々な文化事業・文化活動が積極的に行われ、大田区の文化の発信拠点として多大な成果をあげてこられました。関係者の皆様の熱意と努力に敬意を表しますとともに、心から感謝いたします。

私は「地域力」をキーワードの一つとして区政に取り組んでいますが、「大田文化の森」は、まさに地域力を活かすための拠点です。区民、NPO、ボランティア、事業者、区がそれぞれの立場で連携・協力することにより、区民主体の文化活動を実現することが出来ました。今後も、大田区の文化事業・文化活動が、ますます大きな実を結ぶことを期待しております。



### 巻頭特集

## 10周年2010文化の森収穫祭 ～みんな集まれ文化の祭典～

10周年 2010文化の森収穫祭～みんな集まれ文化の祭典～ 11月3日(祝)午前9時半から午後4時まで 全館イベント

文化の日に行われる10周年の節目の全館イベントです。関係者一同この記念日にふさわしい内容で皆さまをお待ちしています。

## 祝!10周年 「おめでとう! これからも」

祝!10周年 大田区長からのメッセージ「おめでとう! これからも」

### 10周年記念企画 その1

## 大田文化の森、10周年。11月3日誕生日迎える 今日から明日へ、

大田文化の森、10周年。11月3日誕生日を迎える!  
「今日から明日へ」それぞれの思いと期待を聞きました

### 10周年記念企画 その2

## 節目の10周年「私の思い出」 区民の皆様と歩んだ大田文化の森運営協議会

節目の10年「私の思い出」大田文化の森運営協議会を見守ってくださった方々の「私の思い出」をお寄せいただきました。

### 文化の森イベントスケジュール

## イベント情報 文化の森 個でもあり

今月もたくさんイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

### 文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

### 皆さまの投稿お待ちしております

情報誌「おおた文化の森」は読者のみなさまと編集部が一緒につくる誌面です。次号1月発行の38号から、暮らしの中の「ちょっといい話」(300字以内)を掲載いたしたく、みなさまのご投稿をお待ちしています。採用の方には記念品を差し上げます。

郵送の場合は〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会 投稿係宛、FAXの場合は03-

## 編集後記

# 編集後記

## 申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1

大田文化の森運営協議会まで

電話:03-3772-0770

FAX:03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.37Web版

2010年10月1日発行

発行 大田文化の森運営協議会

編集人 池田敏夫

Design: Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail:[info@ota-bunkanomori.jp](mailto:info@ota-bunkanomori.jp)

大田文化の森運営協議会Webサイト

<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

# おおた文化の森

## 大田文化の森、10周年。11月3日誕生日迎える!

### 今日から明日へ、それぞれの思いと期待を聞きました。

旧大田区役所の跡地にオープンした文化施設「大田文化の森」が10周年。11月3日、10回目の誕生日を迎えます。これを機にまだまだ続く、区民による文化活動の発信基地。「大田文化の森」、今日から明日へのジャンプ！です。これまで支えてくださった関係者の思いと、これから期待することを書き綴って載せました。

地元の活動とともに・・・

#### 祝10周年 共に歩み、共に育った歲月

この10年「大田文化の森」という晴れ舞台で「馬込文士村」の壮大なドラマを演じさせて頂いてきました。いわば、主役：馬込文士村の個性豊かな役者たち、シナリオ：馬込文士村継承会、演出：大田文化の森運営協議会といった設えです。郷土の価値ある遺産「馬込文士村」を次世代に継承し、世にその名を高めようと、2000年春、産声をあげた馬込文士村継承会は、2001年秋にオープンした「大田文化の森」という格好の土壌を得て生まれ、昨年、設立10年を迎えるまでに成長することが出来ました。一つの文化を育てるには、子育て同様、愛情と忍耐と多大なエネルギーを要します。心豊かな人たちの慈愛に満ちた眼差しにも似た「大田文化の森」の存在に、いかに元氣付けられたかを実感しています。次の10年に向けて「大田文化の森」が設立の理念を更に深化して、より一層の発展を目指して、地域文化の育成・発信に引き続き邁進されることを心から祈念しています。



NPO法人馬込文士村継承会理事長 井上 幹彦

#### 地元地域と共に次の10年へ

旧大田区役所の移転に伴い、その跡地に「大田文化の森」が落成(平成13年11月3日)、それを契機に翌年7月31日～8月1日の両日にわたり、地域の皆様に、より身近な施設として親しんで頂きたいとの想いから、運営協議会との共催で、ホールと広場を会場に「大田文化の森 カラオケ・盆踊り大会」を開催する事となりました。毎年真夏の金・土の両日に渡り、地元商店街、消防団、青少対(青少年対策地区委員会)の協力のもとに、ホールではカラオケ、広場では盆踊りと、大勢の皆様に「カラ盆」の愛称で親しんで頂いて居ります。また、大森第三中学校吹奏楽部の皆様の発表の場として定着しつつあります。今年で9回目のカラ盆も事故なく終わる事が出来ました。より多くの皆様に文化の森に親しんで頂き、情報の発信源となることを期待しつつ、皆様のご支援、ご協力をお願い致します。



新井宿自治会連合会会長 渡部 作次

主役は区民の皆さん

#### 進化する“協働の実験場”！ ～文化力で未来社会を築く市民たち～

#### 巻頭特集

### 10周年2010文化の森収穫祭 ～みんな集まれ文化の祭典～

10周年 2010文化の森収穫祭～みんな集まれ文化の祭典～ 11月3日(祝)午前9時半から午後4時まで 全館イベント  
文化の日に行われる10周年の節目の全館イベントです。関係者一同この記念日にふさわしい内容で皆さまをお待ちしています。

### 祝!10周年 「おめでとう!これからも」

祝!10周年 大田区長からのメッセージ「おめでとう!これからも」

#### 10周年記念企画 その1

### 大田文化の森、10周年。11月3日誕生日迎える 今日から明日へ、

大田文化の森、10周年。11月3日誕生日を迎える!  
「今日から明日へ」それぞれの思いと期待を聞きました

#### 10周年記念企画 その2

### 節目の10周年「私の思い出」 区民の皆様と歩んだ大田文化の森運営協議会

節目の10年「私の思い出」大田文化の森運営協議会を見守ってくださった方々の「私の思い出」をお寄せいただきました。

#### 文化の森イベントスケジュール

### イベント情報 文化の森 旬でもあり

今月もたくさんイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

### 文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

#### 皆さまの投稿お待ちしております

情報誌「おおた文化の森」は読者のみなさまと編集部が一緒につくる誌面です。次号1月発行の38号から、暮らしの中の「ちょっといい話」(300字以内)を掲載いたしたく、みなさまのご投稿をお待ちしています。採用の方には記念品を差し上げます。

郵送の場合は〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会 投稿係宛、FAXの場合は03-

雑誌(『社会教育』2003年10月号)の取材で「大田文化の森」をはじめ訪れたのは7年前の夏。そのリード文には「各地で市民との協働事業が盛んだ。もちろん背景には、財政面でも企画運営面でも行政だけでは立ち行かなくなった事情がある。けれども、そんな行政の揚げ足取りをしている時代ではない。<ならば、自分たちのまちづくりは自分たちでやってみようじゃないか！>と、行政の投げかけに本気で取り組み始めた市民たちを紹介する」と。



運営協議会を担うのは、これまで地域社会には疎遠だった壮年男性と女性たち。その意気込みが、市民を巻き込んだ“文化プレーヤー”が、そのネーミングが新鮮だった。その後、毎期の運営ぶりを拝見させていただいているが、4期目を迎えた今、関係者の姿勢、意気込みは益々新鮮で確実に進化していることに、またまた驚いている。

文化ボランティア・コーディネーター 大久保 邦子

## 大田区をまるごと文化の森に

「大田文化の森」が、多彩な方々の参画と協力により、区民の主体的な文化活動を支援する様々な活動を展開していることが素晴らしいですね。地域固有の資源には、歴史・風景・人々・文化・産業・自然などいろいろと有りますが、文化は特に大切な役割を持っています。文化は、対話の道具としてコミュニティー再生や国際交流に寄与します。観光やまちづくりの切り札になります。



また、「モノづくり」に「コトづくり」が加わると事業に唯一性や付加価値が生まれます。なによりも、市民一人一人の創造性を育む事は地域コミュニティーを活性化し、ひいては活力ある新たな日本の創造につながります。「10周年 森からジャンプ！」と奥田和子会長が掲げるように、文化活動の場としての「大田文化の森」の活動がますます発展し、大田区全体を独自の都市文化を育てていく“場”である“文化の森”にする活動へと大きく飛躍する事を祈っています。

NPO法人大田まちづくり芸術支援協会理事長 田中 常雅

NPO活動も巻き込んで

## つながりの再構築を共に

「大田文化の森」は私たち「大森まちづくりカフェ(まちカフェ)」の産みの親。まちカフェのメンバーのつながりは大田文化の森運営協議会主催のまちづくり講座で育まれました。

これからの10年は「つながりの再構築」がキーワード。地域における事件、事故、孤独死、児童虐待、失業、ひきこもりなどの様々な問題・課題に対して、私たちの暮らしの根本であるヒトとヒトとの「つながりの再構築」を実践し解決する時代です。



そのようなつながりの再構築には、生活文化を育むことが重要。まずは自らの生活の質を高めようとする人々の思いとそれを叶える「場」が充実することが必要です。この10年間、「大田文化の森」はまさにそのような場を築きあげてきました。まちカフェの活動もその成果です。「大田文化の森」とまちカフェ、そして様々なまちづくりの担い手の方々が、つながりの再構築を実践し、安心・安全な暮らし、地域づくりにむけて共に発展していくことを願っています。

NPO法人大森まちづくりカフェ 代表理事/滋賀県立大学 准教授 鶴飼 修

## 柔軟性と先進性で発展を

大田文化の森運営協議会の皆様に、さまざまにアドバイスをいただき、また、ご協力をいただくようになったのは、私たちの法人がまだ「旧大森第六小学校施設運営準備協議会」という任意団体だったころに遡ります。当時、市民が公的施設の運営を担う“運営協議会”の先輩として、その存在が大変心強く感じられました。



“文化”という幅広く底深い分野で、大田区内の活動を牽引していらした功績は貴重なものと思います。生涯学習活動への支援の取り組み、多文化共生の実践的な活動など、その先見性・創造性は、常に運営委員と文化プレーヤーの皆さんが討議を重ね、実践を積み上げていらした結果だと思っています。

「公共」性を踏まえた市民による運営は、これからも様々な課題が立ち現れ、困難もまた生じることと思います。大田区内の同様な立場の諸団体に対して、課題の共有や連携に関して、ぜひリーダーシップを発揮していただきたいと思っています。また、これからも、

3772-0704、メールの場合は、[info@ota-bunkanomori.jp](mailto:info@ota-bunkanomori.jp)まで。  
誌面でのご紹介は姓名(ペンネームでも結構)町名とさせていただきますが、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。

## 編集後記

# 編集後記

## 申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1

大田文化の森運営協議会まで

電話: 03-3772-0770

FAX: 03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.37Web版

2010年10月1日発行

発行 大田文化の森運営協議会

編集人 池田敏夫

Design: Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail:[info@ota-bunkanomori.jp](mailto:info@ota-bunkanomori.jp)

大田文化の森運営協議会Webサイト

<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

■おた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

市民自身が自ら主体的に文化活動に取り組む場として、さらに柔軟性と先進性をもって発展をすることを期待しております。

特定非営利活動法人大森コラボレーション事務局長 さかい かずえ

新しいつながりも生まれ・・・

## 私たち、最年少文化プレーヤー

私が生まれたときにこの「大田文化の森」も生まれました。今では家のような温かい場所と同じそんざいに思います。私は書道、アート空間をこの文化の森で習っています。何かイベントがあると小木先生がよくしてくれます。私は都合のつく時は必ず「はい」と答えてお手伝いをします。文化の森なら安心していただけるのでとても好きです。近未来、文化の森が大きくなってもっと多くの人に知られて幸せな施設になってほしいです。これからも楽しいきかくを計画する事を心から願っています。



小学校4年 能登 さくら(写真右)

わたしがうまれた時にはすでにたっていました。大田区は、元気で明るい人ばかりです。こんな区にうまれて本当によかったと思います。わたしは書道をやってよかった、そして文化プレーヤーになれて本当に感しゃしています。これまでのイベントに参加してきたみんなのえがおが見れるだけで幸せです。これからもみんなで文化の森をささえましょう。しょう来はもっと笑顔があふれる大田区を心から願います。

小学校4年 坂本 みなみ(写真左)

## 大田文化の森10周年記念公演決定！ 「水谷八重子 Presents 朗読新派大つごもり」

12月13日(月)昼・夜 大田文化の森ホール 入場料2000円

「大つごもり」は、樋口一葉の短編小説。明治時代の大みそかの庶民生活を描いて、明治期の女性の悲哀を浮き彫りにする。文化の森10周年にふさわしい文芸作品公演です。



日本語が消えてゆく。美しい言葉が死んでゆく。と、嘆いていても始まらない。言葉は「細胞」と同じだ。日々生まれては死んでゆく。役者は言葉の使い手だ。プロだったら、時代によって使い方を変えられる。そうありたいと思って始めた「朗読新派・大つごもり」だ。樋口一葉さんの明治の書き言葉。久保田万太郎先生の大正、昭和の話し言葉。島田雅彦さんの平成の現代語。4つの時代の日本語と「情け」、お楽しみ下さいませ。



□開催日時:12月13日(月)昼の部15:00~16:30 夜の部18:00~19:30 □会場:大田文化の森ホール □入場料:2,000円、大田文化の森=10月13日10:00から発売。区民ホールアプリコ、大田区民プラザ=10月14日10:00から発売

# 秋 2010 号 おおた文化の森



## 節目の10年「私の思い出」

### 区民の皆様と歩んだ大田文化の森運営協議会

大田文化の森運営協議会が発足して、節目の 10年。ゼロからスタートした企画・催し物も、いまでは年間約 100件を開催するまでに至りました。貸館業務を入れるとじつにその倍。見守ってきてくださった方々の「私の思い出」をお寄せいただきました。



### 大田文化の森運営協議会10年に寄せて

「大田文化の森」運営協議会10周年おめでとうございます。

旧大田区役所移転後の跡地担当として、「大田区文化活動支援施設建設構想懇談会」の運営から庁舎の取り壊し、建設、開館までの5年間、地域の皆様には大変お世話になりました。ご縁があって、昨年4月から新井宿特別出張所長を勤めさせていただいております。

「大田文化の森」は、建設構想懇談会の段階から設計事務所に入ってもらい、地域の代表の方々の意見を伺いながら図面を描くという方法で計画を進め、建設の最終段階では、運営協議会の委員の方々に出来上がりつつある施設を見ていただきながら、使い勝手をよくするための要望を取り込むという形で完成しました。担当としては、平成13年11月3日の開館式を終え、さあ事業運営は運営協議会にお任せしましたよ、という気持ちだったと思います。

建設構想懇談会の野村飯一会长が初代運営協議会会長となられ、二代目が鈴木康紀さん(前新井宿自治会連合会会長)で、構想懇談会の委員の方々と共に、懇談会当時のスピリットが脈々と続いているんだなあと感じておりました。発足当時の運営協議会委員さん方が夜遅くまで区民文化や運営協議会のあるべき姿について熱心にご議論されていたことが思い出されます。大田区として初めての試みであった区民による事業運営の担い手としての運営協議会が、その後「文化プレーヤーの創設」など進化し、発展されてきたことは大変うれしく思っています。

10年の節目を迎え、当初の情熱から安定期に入った感もしますが、今後はより充実した事業運営に期待したいと思います。奥田和子会長を中心に委員の皆さんのご活躍とご発展をお祈り申し上げます。

新井宿特別出張所所長 落合 邦男

—ベテラン文化プレーヤーさんの想い—

根付いた企画、広がる喜び

### 巻頭特集

### 10周年2010文化の森収穫祭 ～みんな集まれ文化の祭典～

10周年 2010文化の森収穫祭～みんな集まれ文化の祭典～ 11月3日(祝)午前9時半から午後4時まで 全館イベント

文化の日に行われる10周年の節目の全館イベントです。関係者一同この記念日にふさわしい内容で皆さまをお待ちしています。

### 祝!10周年

「おめでとう!これからも」

祝!10周年 大田区長からのメッセージ「おめでとう!これからも」

### 10周年記念企画 その1

### 大田文化の森、10周年。11月3日誕生日迎える 今日から明日へ、

大田文化の森、10周年。11月3日誕生日を迎える! 「今日から明日へ」それぞれの思いと期待を聞きました

### 10周年記念企画 その2

### 節目の10周年「私の思い出」

区民の皆様と歩んだ大田文化の森運営協議会

節目の10年「私の思い出」大田文化の森運営協議会を見守ってきてくださった方々の「私の思い出」をお寄せいただきました。

### 文化の森イベントスケジュール

### イベント情報 文化の森 旬でもあり

今月もたくさんのイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

### 文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

### 皆さまの投稿お待ちしております

情報誌「おおた文化の森」は読者のみなさまと編集部が一緒につくる誌面です。次号1月発行の38号から、暮らしの中の「ちょっといい話」(300字以内)を掲載いたしたく、みなさまのご投稿をお待ちしています。採用の方には記念品を差し上げます。

郵送の場合は〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会 投稿係宛、FAXの場合は03-

10年という年月を経て、大きな繁みとなった「大田文化の森」。オープンと同時に参加させて頂いた私にとって、こんなに嬉しいことはございません。

当初文化プレーヤー制度のない時、私共グループがお引き受けした企画を「森のこだま」、「森のアート」と名付け、みんなでいいネーミングだと自負したことが想い出されます。この2つの催しはしっかり定着し、毎回沢山の方々のご参加を頂いています。

歴代の運営委員・文化プレーヤー、ご参加の多くの地元区民の方々の共同作業が、根となり幹となり枝葉となり成長したと思います。私個人としては、恐る恐る提案した「暮らしの中のうるし」の講座が内容も素晴らしく、豊かな学びとご好評を頂いたことは、忘れられない思い出となりました。警備パトロールが気になった10年前。今は館内や広場には、お子様連れの若いお母様の姿が和やかな雰囲気醸し出しています。

“森”は本当に大きくなりました。次は大田区全域にその枝葉を伸ばされます事を希みながら…。

文化プレーヤー 西井 和



## 森のオアシス創造へ

「大田文化の森」は創設以来3期9年の運営委員の努力によって順調に発展してきた。今年は10周年を迎え、新しい4期目の運営委員も参画、更なる躍進が期待されている。社会構造が激しく変化するなかで、区民が求める文化活動も多様化し、文化の森の理念遂行の見直しも求められよう。旧大田区役所跡地利用という観点から、近隣住民に主眼が置かれた運営も見られたが、今後は、大田区全域の区民の文化創造の拠点として、更に展開する必要がある。

「大田文化の森」の運営が他の文化施設と根本的に異なる点は、区民による自主運営と区の活動支援がある。今年度の活動テーマ「森からジャンプ！」が謳われているが、文化プレーヤーも、今までの慣習や枠に拘束されることなく、新しい発想で文化の輪を拡大し、深化させる努力が必要である。まさしく区民が求める魅力ある企画の提供、人材の発掘と育成、垣根の無い交流が、区内のあちこちで展開される、森のオアシス創りである。

文化プレーヤー 松田 博



3772-0704、メールの場合は、[info@ota-bunkanomori.jp](mailto:info@ota-bunkanomori.jp)まで。  
誌面でのご紹介は姓名(ペンネームでも結構)町名とさせていただきますが、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。

## 編集後記

# 編集後記

## 申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1

大田文化の森運営協議会まで

電話：03-3772-0770

FAX：03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.37Web版

2010年10月1日発行

発行 大田文化の森運営協議会

編集人 池田敏夫

Design: Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail:[info@ota-bunkanomori.jp](mailto:info@ota-bunkanomori.jp)

大田文化の森運営協議会Webサイト

<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

## —文化の森ロゴマークの由来—

### ロゴマークはうさぎ！！

みなさんこんにちは。私は、今から10年前、4歳だった時に、現在大田文化の森で使われているマークを描きました。私は、その当時「大田文化の森」運営協議会の委員をしていた母から、「何か絵かきして」と言われ、その頃好きだったうさぎを描きました。今この歳になって改めて見ると、あまりうさぎには見えませんが、当時の私はうさぎを描いたつもりでした。しかし、まさかそのマークが文化の森で10年も使われることになるなんて驚きです。



私は幼い頃、文化の森で行われていた工作や、お菓子づくりなどの教室に、母や友達と、よく行っていました。今でも時々、図書館へ行ったりしています。それから1階の喫茶店すばるが開いていたら、いつもクッキーを買って帰ります。すばるのクッキーはとても美味しいので、皆様も文化の森へ行く機会があれば、ぜひ食べてみてください。

中学3年 河原 結佳

## —第1期の頃は…—

### 心に残る「日本とコリアの親善文化交流」

輝かしい第1期の委員は、それぞれのジャンルのスペシャリストでした。思い出深いのは文化の森が建設中だった為、新井宿出張所で毎回深夜まで委員会を開いた事です。

私が実行委員長として手掛けた大きな事業の一つは、「日本とコリアの親善文化交流」(2002年2月2日開催)。当初「日韓親善」と企画したのですが、日本には韓国(民団)と北朝鮮(総連)と二カ国の人たちが住んでおり、韓国だけでなく一緒にやって欲しい、との声があり“日本とコリア”と言う事で実施する事になりましたが、当時も北と南は緊迫した情勢にあったので開催を危ぶむ声も多数ありました。しかし私は「まだ国は統一されていないけれども、いつかきっと統一されて平和な国になるだろう。せめて文化だけでも仲良く統一してやりましょう」と説得して、開催が決まりました。当日は大成功で、打ち上げでは日本の中高生とコリアの中高生が輪になって、皆で自国の歌を仲良く歌い、感動の内に無事終了する事ができました。

後日、東京の自治体専門紙「都政新報」(1950年創刊)の一面トップに大きく報道されました。北と南が同じステージで競演したのは日本で初めての事だったのです。



第1期運営委員 山田 皓一

#### —大田文化の森の名物といえば…—

### ニツ目時代からのご縁で

まだニツ目で芸名も「朝之助」の頃に地元在住の御縁で“季節寄席”をやってみませんか?とお誘いを受けました。年4回のペースで始めましたが、低料金と土曜日の15時開演ということもあってか!?毎回大入り満員で、ボランティアで一生懸命ささえて下さったスタッフの皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです! ありがとうございます。



六代 春風亭 柳朝

### 文化の森のオアシスに

振り返ればすでに10年を迎える歳月…

知的障害者への啓発・就労の場の確保、また、「大田文化の森」を訪れる地域の皆様の憩いの場作りになればと、知的障害者大田区育成会の素人集団、2名の従事者と10余名のボランティアスタッフが一心同体となり試行錯誤しつつ、手作り運営してきた喫茶室です。



「大田文化の森」の隅々まで、まるで我が物顔で闊歩し出没する従事者、館の方々からも愛され… お客様からは「良く頑張っているね」とのお言葉に胸熱く、重ねた年月の重さと共に成長した2人を息子、娘のごとく見守れる私は、世界中の誰よりも至福の時を戴いています。

実習をし社会に巣立った学生さんも40人余。障害にめげず、頑張り働く姿を仕事を通して地域の方々に認めて頂きつつ、また大田区文化振興協会、運営協議会、そして区民の皆様の温かい支援の中、11年目に向かい更に更に飛躍して行きたい「すばる」です。深謝。

ティーラウンジ すばるの店長 白岩 洋子

#### —大田文化の森の縁の下の力持ち—

### 行事を見守って十年…

区役所移転当時、地域住民として町会ぐるみで集会、署名運動等に町の活性化の為にとも思い反対したものでした。しかし多勢に無勢で移転は決定し、やがて解体が始まり更地になった姿は寂しいものでした。そして建築が始まり徐々に完成して行く中、地域の為に新たな利用法、賑わいが戻ればと期待したものでした。



今年10年目を迎える「大田文化の森」の諸行事に消防団員として最初から救護、警備、交通、安全等を担当しながら関わって来ました。参加された大勢の小さな子どもさん低学年の児童に怪我の無いように、事故等に合わないよう安全面には最善の注意を払って警備に当たってきました。

それでも小さな事故は発生しています。子どもさんたちの擦過傷はあとを絶たず、時に



は酔っ払いの侵入などありますが、消防団の皆さんと力合わせて今後も絶対無事故を期していきたいと思えます。恒例の夏祭り一つを取っても年々盛んになっていくようで大変喜ばしい事だと思えます。今後とも地域住民の憩いの場として、また情報発信の基地として「大田文化の森」が発展していくことを願っています。

元大森消防団第四分団長 時任 勉

## 無我夢中の10年、無事故でホッ

「大田文化の森」、並びに運営協議会10周年おめでとうございます。同時に私自身も10年経ったかと改めて思えます。感慨無量というより、日々無我夢中で働いてきたらいつの間にか10年経ってしまったというのが実感ですが。



10年前の9月11日の朝、期待と不安で胸をドキドキさせながら、大森駅から池上通りを歩いてきたのがついこの間のように感じられます。11月3日のオープンに合わせて、とにかく必死でした。オープン前後の1ヵ月は朝7時から夜10時まで休みも入れず出勤したものです。今ではとても無理ですが、当時は気も張っており、また、今より10年若いのですから何とか耐えたのでしょう。

当時清掃は多少経験がありましたが、「設営」という未知な仕事もあり、訳のわからないまま手探りでスタートし、なんとか大きな事故もなくここまで来ることができました。これもひとえに運営協議会や大田区文化振興協会の皆様、フロントや図書スタッフ、ホールスタッフの皆様、そして警備、設備、清掃の仲間たちに助けて頂いてきたからこそできたことだと思ひ、大変感謝しております。今後の「大田文化の森」、そして運営協議会の益々のご発展をお祈りいたします。

大田文化の森 清掃・設営責任者 松身 静雄

# 秋 2010 号 おおた文化の森

Home

## 文化の森 イベント情報 何でもあり

### 盛り上がりました、2010文化の森夏祭り

盛り沢山の夏気分、10周年「2010大田文化の森 夏祭り」が去る7月30、31の両日、賑やかに繰り広げられた。広場ではやぐらを取り囲んでの盆踊りの輪、ホールでは約70人がカラオケで自慢のノドを披露していい気持ちに浸っていた。

2日間で約2500人を動員しての夏の風物詩。めったに着ない？ゆかた姿になりたい参加者には着付けスタッフが無料でお手伝いして華やかな祭りムードを演出する。



一方、本館内では「楽しいお弁当作り」に女性たちが浮き浮きの調理挑戦。お祭りには付きものの笑いもおまかせ、地元の落語家、三遊亭時松の落語や「こども落語講座」。さらに親子で楽しめる映画観賞まで併映されて会場が沸く。しっとり派には「読み語り」や「レトロレコードコンサート」も開かれてオールドファンにとってはたまらない雰囲気をももたす。

幅広い層にアピールできた野口実行委員長は「両日、天候に恵まれ、また事故もなくつつがなく終えたことがとても嬉しい」とホッとしていた。

## 楽しいイベントが一杯！ ホール、多目的室、広場等で行われるイベント

### ■10周年2010文化の森収穫祭

秋の全館イベント。開催日はちょうど大田文化の森創設10周年の当日。“みんな集まれ 文化の祭典”を合言葉に、ホールでは歌や演奏、踊りなど、集会棟ではさまざまなワークショップ、作品展示、模擬店等、また広場では多彩なパフォーマンスがいっぱい！

□開催日時：11月3日(祝)9:30～16:30 □当日会場へ

### ■大田文化の森「歌声喫茶」

1950年代～70年代にかけて、日本が貧しかった時代に心を満たしてくれた歌の数々、肩を寄せ合って歌うことで得られた充実感、そんな時代の歌声喫茶を再現し、思い出を語り歌う集い。第1部「みんなで歌おう」、第2部「リクエストに応じて」、第3部「再び、みんなで歌おう」

□開催日時：10月23日(土)13:30～16:30 □会場：5階多目的室

□参加費：500円 □定員：抽選で150名(16歳以上)

□申込：10月9日必着

### ■第2回大田ジャズフェスティバル

大田文化の森から発信する“ジャズフェスティバル”。区民から募集したジャズプレイヤーの方々とトロンボーン奏者北原雅彦を迎えて、熱いジャズナイトを演出

□開催日時：11月6日(土)第1部13:00～16:00 第2部17:00～20:30 □会場：大田文化の森ホール

□入場料：第1部(学生の部)大人・学生500円、第2部(一般の部)大人1,500円(当日2,000円)、学生1,000円(当日1,500円)、大田文化の森にて発売中(小学生以上)

### ■楽しく踊ろうダンスパーティー～文化の森ダンスフェスタ～

年齢に関係なく楽しいダンスのお祭りを開催

□開催日時：11月28日(日)14:30～19:00 □会場：5階多目的室 □参加費：1,000円 □定員：抽選で100名

□申込：11月18日必着

### ■みんなで歌うクリスマスゴスペルコンサート

ゴスペルクワイヤ Sprit of soulの歌を楽しみ、音楽ディレクターの指導で参加者みんなで歌い

## 巻頭特集

### 10周年2010文化の森収穫祭 ～みんな集まれ文化の祭典～

10周年 2010文化の森収穫祭～みんな集まれ文化の祭典～ 11月3日(祝)午前9時半から午後4時まで 全館イベント

文化の日に行われる10周年の節目の全館イベントです。関係者一同この記念日にふさわしい内容で皆さまをお待ちしています。

## 祝!10周年

「おめでとう!これからも」

祝!10周年 大田区長からのメッセージ「おめでとう!これからも」

## 10周年記念企画 その1

大田文化の森、10周年。11月3日誕生日迎える

## 今日から明日へ、

大田文化の森、10周年。11月3日誕生日を迎える!  
「今日から明日へ」それぞれの思いと期待を聞きました

## 10周年記念企画 その2

### 節目の10周年「私の思い出」

区民の皆様と歩んだ大田文化の森運営協議会

節目の10年「私の思い出」大田文化の森運営協議会を見守ってくださった方々の「私の思い出」をお寄せいただきました。

## 文化の森イベントスケジュール

### イベント情報 文化の森 何でもあり

今月もたくさんのイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

### 文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

## 皆さまの投稿お待ちしております

情報誌「おおた文化の森」は読者のみなさまと編集部が一緒につくる誌面です。次号1月発行の38号から、暮らしの中の「ちょっといい話」(300字以内)を掲載いたしたく、みなさまのご投稿をお待ちしています。採用の方には記念品を差し上げます。

郵送の場合は〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会 投稿係宛、FAXの場合は03-

ましよう  
□開催日時:12月12日(日)14:00~16:00 □会場:5階多目的室□参加費:300円 □定員:  
抽選で150名 □申込:11月29日必着

#### 【同時開催】クリスマスのオーナメントを作ろう

ゴスペルコンサートに寄せて参加者でクリスマス飾りを手作り、ツリーに飾り付け会場を盛り上げましょう。作品は持ち帰ります

※ゴスペルコンサート参加者から希望者を対象に開催します。ゴスペルコンサートの申込ハガキにオーナメント作り参加希望と明記してください

□開催日時:12月12日(日)12:00~13:00 □会場:5階多目的室

□参加費:200円 □定員:抽選で50名 □申込:11月29日必着

#### ■大田文化の森10周年記念公演 「水谷八重子Presents朗読新派大つごもり」

樋口一葉作品の朗読劇

□開催日時:12月13日(月)

昼の部15:00~16:30 夜の部18:00~19:30

□会場:大田文化の森ホール

□入場料:2,000円、大田文化の森=10月13日10:00から発売

区民ホールアブリコ、大田区民プラザ=10月14日10:00から発売

#### 申し込み・問い合わせ

〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会まで

電話:03-3772-0770/FAX:03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

## 生活・心に役立つ講座 知的好奇心を満足させる魅力あるイベント

#### ■日本語とハングルで韓国料理を楽しもう!

どこでも簡単に手に入る食材を使って、食べた人の気持ちが温かくなる、おいしい韓国料理教えます

□開催日時:10月24日(日)10:00~14:00 □会場:3階調理室

□定員:抽選で30名(中学生以上) □参加費:1,000円

□申込:10月12日必着

#### ■ガーデニング講習会 ~クリスマス&お正月を楽しむ寄せ植え講習会~

クリスマス&お正月の時期に合った飾り付けを行う事で、一回の寄せ植えで倍楽しむことが出来ます

□開催日時:12月5日(日)14:00~16:00 □会場:3階工芸室

□参加費:2,000円 □定員:抽選で30名(小学生以上)

□申込:11月22日必着

#### ■「大江戸塾」Ⅲ

江戸の社会の間に生まれ育った江戸の文化をジャンル別に読み解き、新たな江戸の世界を再発見し、近現代文化を考える。最終回は東京都小金井市の「江戸東京たてももの園」を見学

□開催日時:1月19日、2月16・23日、3月16・23・30日(外部見学会)(各水)10:00~11:30

□会場:4階第3・4集会室 □参加費:2,500円 □定員:抽選で60名(成人) □申込:12月25日必着

#### ■和服で味わう小正月(女正月)のお茶席

せわしかった正月も過ぎ、ようやくゆっくりとした気分で和服を着て、お茶を味わいます

□開催日時:1月23日(日)13:30~16:00 □会場:3階和室

□参加費:500円 □対象:小学生と保護者 □定員:抽選で30名

未就学児同伴可 □申込:12月25日必着

#### 申し込み・問い合わせ

〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会まで

電話:03-3772-0770/FAX:03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

3772-0704、メールの場合は、[info@ota-bunkanomori.jp](mailto:info@ota-bunkanomori.jp)まで。

誌面でのご紹介は姓名(ペンネームでも結構)町名とさせていただきますが、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。

## 編集後記

# 編集後記

## 申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1

大田文化の森運営協議会まで

電話:03-3772-0770

FAX:03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.37Web版

2010年10月1日発行

発行 大田文化の森運営協議会

編集人 池田敏夫

Design: Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail:[info@ota-bunkanomori.jp](mailto:info@ota-bunkanomori.jp)

大田文化の森運営協議会Webサイト

<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

■ふわふわ羊毛のフェルティング教室

ニードルという専用の針で羊毛を刺して、表情豊かな小物を作る

□開催日時:11月4日、12月2日、1月6日、2月3日(各木)9:30~11:30 □会場:3階第1集会室 □参加費:3600円 □定員:抽選で15名 □申込:10月23日必着

■だれでも書ける! 一文字アート&年賀状作成

墨の濃淡や紙質、筆によって書いた文字の違いを知り、一文字(ひとじ)アートの世界を楽しみながら年賀状を作成

□開催日時:11月21日(日)13:15~16:00 □会場:4階第3集会室 □参加費:500円 □定員:抽選で25名(小学3年生以上)

□申込:11月6日必着

■日本そば打ち講習会~そば打ちを通じて地域との交流を図る~

そば打ちを通して日本の食文化を体験できる講座

□開催日時:12月12日(日)10:00~14:00 □会場:3階調理室

□参加費:1,000円 □定員:抽選で30名(中学生以上)

□申込:12月1日必着

■お正月をさきどり体験しちゃおう!

お正月に向けての体験レクチャー。箏の演奏体験・かるた体験に、試食をしながらお節料理の意味や由来を解説する

□開催日時:12月23日(祝)13:30~16:00 □会場:3階和室

□参加費:500円 □定員:抽選で26名(小学生対象)、未就学児同伴可 □申込:12月11日必着

■ハーブのせっけん作りにチャレンジ!

ハーブの特性を学び、子育て中の世代にも参加できるように保育付のハーブせっけんづくり講座です。区内在住のハーブ薬膳料理研究家で有名な講師を招きハーブティの試飲などしながら、ハーブの利用法などを指導していただき、ハーブを身近に楽しんでいただく講座

□開催日時:1月26日(水)13:30~16:00 □会場:3階工芸室

□参加費:大人1,000円、子ども500円、保育料別途500円(保育希望者は氏名・年齢を明記のこと) □定員:抽選で30名

□申込:1月11日必着

申し込み・問い合わせ

〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会まで

電話:03-3772-0770/FAX:03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

 **映画を見よう!**

■文化の森シネマ館「育子からの手紙」

小学生以上。文部科学省特別選定。“生きる”ことへの希望をどんな時でも投げ出さなかった少女の物語。村橋明郎監督が当日、舞台挨拶

□開催日時:11月26日(金)昼の部15:00~17:00、夜の部19:00~21:00 □会場:大田文化の森ホール □入場料:500円 大田文化の森、区民ホールアプリコ、区民プラザにて発売中 小学生以上 □往復はがき、FAXにてでも申込可(1通につき、2名まで 先着順) □保育付 1歳~未就学児 各回抽選で10名 保育料別途500円(保育希望者は氏名・年齢を明記のこと)

実話の映画化、命の大切さ訴える

この作品は、15歳という若さで他界した少女と、たまたま病室が同じだった主婦の副島喜美子さんが実話として綴った原作「育子からの手紙」(1989年、筑摩書房刊)の映画化です。村橋明郎監督いわく。「僕は難病ものと呼ばれるジャンルは好きではなかった。しかし、この作品は特別。どう死んでいったかという話ではなく、限られた短い時間をどう生きたかということなのだ。人の命があまりにも軽く扱われてしまう現代、夢をあきらめない少女の姿は“命



の大切さ”を思い起こさせてくれます」。20年前の話を2006年夏に置き換えての喜美子  
役・原日出子と育子役・宮 香蓮の好演が目を引きます。なお、副島喜美子さんは今年6月  
26日、肝臓がんのため死去、73歳でした。

# おおた文化の森

## おおた文化の森カタログ 文化の森ってどんなところ?何をやっているの?

### Q1. なんのための施設?

大田区が2001年11月3日に開設した区民の文化活動支援のための中心施設です。大田区10ヵ年基本計画『おおた未来プラン10年』では「区民の自主的な文化活動の拠点として、区民が集い、参加し、交流することを目的として旧大田区役所跡地に建設された施設」と書かれています。

大田文化の森は区民が学び、演じ、交流を行う文化創造の拠点として中心的な役割を果たします。施設の管理運営にあたっては、より利用しやすく、親しみのもてる施設を目指しています

### Q2. どんな施設なの?

ホール(定員259人)、集会棟(5階建)、広場(185m2)から成り、2階には情報館、地下には有料駐車場(33台)があります。

### Q3. 運営・管理はどうしているの?

事業運営は、大田区から委嘱された区民による運営協議会(事務室4階)が行っています。事業には、①任意登録の文化プレーヤーによって実施する「実行委員会企画」と、②区報・情報誌等で公募した区民によって実施する「公募企画」、③「運営協議会の自主企画」の3種類があります。

施設管理は(財)大田区文化振興協会(情報館・貸館の運営を含む)が行っています。詳しくは利用案内をご覧ください。

### Q4. どんな利用ができるの?

#### ●企画の実施

- 1.文化プレーヤーに登録して実行委員会または文化プレーヤー事業部に参画する、2.「公募による事業」に応募する
- 3.運営協議会が行う自主事業に参画する。

#### ●ボランティアとして参画

文化プレーヤーに登録して希望のボランティア活動をする。

#### ●貸館を利用する

[うぐいすネット\(コンピュータを活用した登録制の申込システム\)](#)を利用するか、うぐいすネットが設置されている大田区の集会施設窓口で申込む。(詳しくは利用案内をご覧ください。)



ちょっとここでコーヒーブレイク

飲み物・軽食をご用意して皆様のご来店をお待ちしています。

営業時間 10:00~17:00

定休日 隔週月曜・全館休館日

## 巻頭特集

### 10周年2010文化の森収穫祭 ～みんな集まれ文化の祭典～

10周年 2010文化の森収穫祭～みんな集まれ文化の祭典～ 11月3日(祝)午前9時半から午後4時まで 全館イベント

文化の日に行われる10周年の節目の全館イベントです。関係者一同この記念日にふさわしい内容で皆さまをお待ちしています。

## 祝!10周年

「おめでとう!これからも」

祝!10周年 大田区長からのメッセージ「おめでとう!これからも」

## 10周年記念企画 その1

大田文化の森、10周年。11月3日誕生日迎える

### 今日から明日へ、

大田文化の森、10周年。11月3日誕生日を迎える!  
「今日から明日へ」それぞれの思いと期待を聞きました

## 10周年記念企画 その2

### 節目の10周年「私の思い出」

区民の皆様と歩んだ大田文化の森運営協議会

節目の10年「私の思い出」大田文化の森運営協議会を見守ってくださった方々の「私の思い出」をお寄せいただきました。

## 文化の森イベントスケジュール

### イベント情報 文化の森 個でもあり

今月もたくさんのイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

### 文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

## 皆さまの投稿お待ちしております

情報誌「おおた文化の森」は読者のみなさまと編集部が一緒につくる誌面です。次号1月発行の38号から、暮らしの中の「ちょっといい話」(300字以内)を掲載いたしたく、みなさまのご投稿をお待ちしています。採用の方には記念品を差し上げます。

郵送の場合は〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会 投稿係宛、FAXの場合は03-

## 大田区役所 大田文化の森運営...

日本, 〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

保存

[拡大地図を表示](#)



[Googleマップで大きな地図を見る](#)



### 404. That's an error.

The requested URL /maps/sv was not found on this server. That's all

[Googleマップで大きな地図を見る](#)

バスの場合、どの駅から乗っても「大田文化の森」停留所で下車、徒歩1分

■東急池上線池上駅より

東急バス上池上循環 大井町駅行き、品川駅行き、大森駅行きに乗車

■JR大森駅(西口)より

東急バス上池上循環 池上駅行き、蒲田駅行き、洗足池行きに乗車

■JR蒲田駅(西口)

東急バス大井駅行き 荏原町駅入り口行きに乗車

連絡先

■大田文化の森運営協議会事務局

〒143-0024 大田区中央2-10-1

電話: 03-3772-0770/FAX: 03-3772-0704

■みなさまの投稿 お待ちしています

情報誌「おおた文化の森」は読者のみなさまと編集部が一緒につくる誌面です。次号1月発行の38号から、暮らしの中の「ちょっといい話」(300字以内)を掲載いたしたく、みなさまのご投稿をお待ちしています。採用の方には記念品を差し上げます。郵送の場合は〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会 投稿係宛、FAXの場合は03-3772-0704、メールの場合は、[info@ota-bunkanomori.jp](mailto:info@ota-bunkanomori.jp)まで。

誌面でのご紹介は姓名(ペンネームでも結構)町名とさせていただきますが、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。

3772-0704、メールの場合は、[info@ota-bunkanomori.jp](mailto:info@ota-bunkanomori.jp)まで。

誌面でのご紹介は姓名(ペンネームでも結構)町名とさせていただきますが、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。

編集後記

## 編集後記

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1

大田文化の森運営協議会まで

電話: 03-3772-0770

FAX: 03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.37Web版

2010年10月1日発行

発行 大田文化の森運営協議会

編集人 池田敏夫

Design: Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail:[info@ota-bunkanomori.jp](mailto:info@ota-bunkanomori.jp)

大田文化の森運営協議会Webサイト

<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

## 編集後記

◆前号の「地域ネットワーク」欄に掲載された羽田の祭り。興味があつたので7月24日、現場に出かけた。“ヨコタ”を見たのは、今回(宵宮)が初めてだった。有名なこの担ぎ方は、たくましい男性だけが神輿を担ぐ荒いイメージであったが、かよわい(?)女性も一緒になって担ぎ、「ヨコタでおいで、いちにのさん」の掛け声を合図に時には小さな子供も担ぎ棒にぶら下がり、身体全体が宙を跳ね上がる、実に楽しい担ぎ方だった。

運営委員 熊倉 まえ子

◆今回の37号は文化施設「大田文化の森」がオープンしてちょうど10回目の誕生日(11月3日)を迎えることで、10周年特集の誌面展開になりました。私自身はあまり過去を振り返るのは好きではありません。寺山修司さんが生前、随筆の中で「振り返るな振り向くな、後ろには夢がない」と書き綴ったことを思い出したくらいです。しかし節目の10年。皆さんのコラムを読ませて戴いて、たまには思い出すのもいいものだった次第。もっとも私の場合は反省ばかりが先にたつ、ですが。

◆7月1日付で事務局に、二人の女性が新規採用となりました。中村紗奈江さんと篠崎真由美さん。「このたび縁あって大田文化の森運営協議会の一員として働けること、とても光栄に思うとともに身の引き締まる思いです。事務局員として、企画サポートなど活動がスムーズに行えるよう精一杯努めますので、どうぞよろしく願い申し上げます」とのこと。若いパワーに期待して、誌面にも活気が出れば嬉しいかぎり。

運営委員(編集長) 池田 敏夫

過去の編集後記はバックナンバーからご覧下さい。

## 巻頭特集

### 10周年2010文化の森収穫祭 ～みんな集まれ文化の祭典～

10周年 2010文化の森収穫祭～みんな集まれ文化の祭典～ 11月3日(祝)午前9時半から午後4時まで 全館イベント

文化の日に行われる10周年の節目の全館イベントです。関係者一同この記念日にふさわしい内容で皆さまをお待ちしています。

## 祝!10周年

「おめでとう!これからも」

祝!10周年 大田区長からのメッセージ「おめでとう!これからも」

## 10周年記念企画 その1

大田文化の森、10周年。11月3日誕生日迎える

### 今日から明日へ、

大田文化の森、10周年。11月3日誕生日を迎える!  
「今日から明日へ」それぞれの思いと期待を聞きました

## 10周年記念企画 その2

### 節目の10周年「私の思い出」

区民の皆様と歩んだ大田文化の森運営協議会

節目の10年「私の思い出」大田文化の森運営協議会を見守ってくださった方々の「私の思い出」をお寄せいただきました。

## 文化の森イベントスケジュール

### イベント情報 文化の森 旬でもあり

今月もたくさんのイベント目白押しで皆さんの参加お待ちしております。

### 文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

## 皆さまの投稿お待ちしております

情報誌「おおた文化の森」は読者のみなさまと編集部が一緒につくる誌面です。次号1月発行の38号から、暮らしの中の「ちょっといい話」(300字以内)を掲載いたしたく、みなさまのご投稿をお待ちしています。採用の方には記念品を差し上げます。

郵送の場合は〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会 投稿係宛、FAXの場合は03-



3772-0704、メールの場合は、[info@ota-bunkanomori.jp](mailto:info@ota-bunkanomori.jp)まで。

誌面でのご紹介は姓名(ペンネームでも結構)町名とさせていただきますが、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。

## 編集後記

# 編集後記

## 申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1

大田文化の森運営協議会まで

電話:03-3772-0770

FAX:03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

大田文化の森Vol.37Web版

2010年10月1日発行

発行 大田文化の森運営協議会

編集人 池田敏夫

Design: Office UsDa

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail:[info@ota-bunkanomori.jp](mailto:info@ota-bunkanomori.jp)

大田文化の森運営協議会Webサイト

<http://www.ota-bunkanomori.jp/>

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。